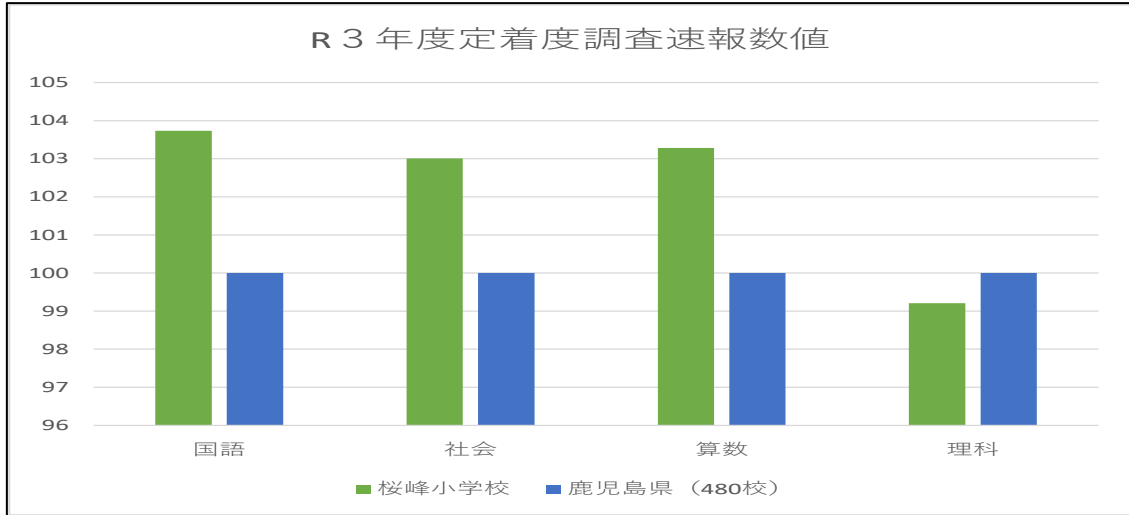
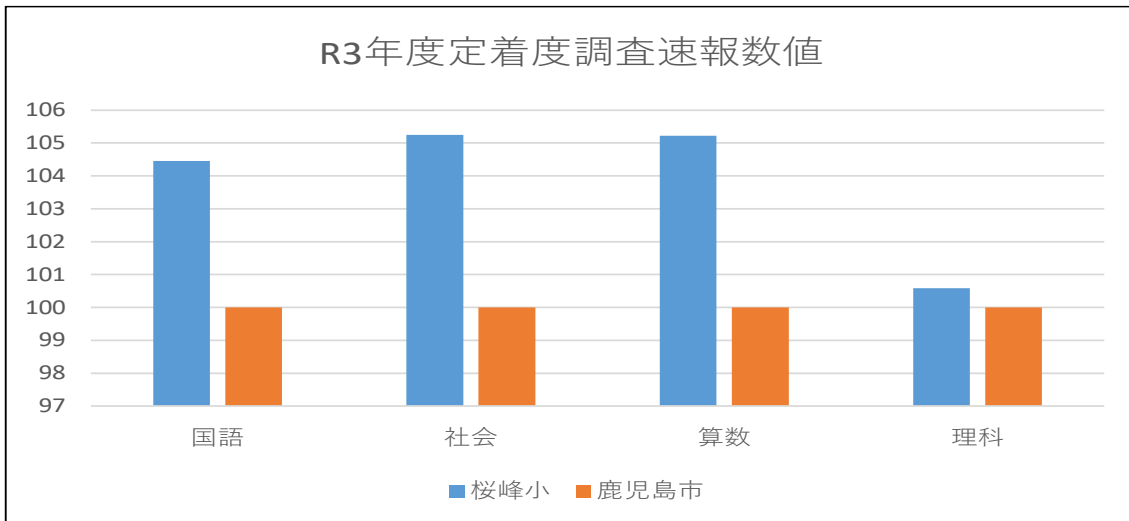


5 3 桜峰小学校

令和4年1月に、第5学年で実施しました鹿児島県学習定着度調査についてお知らせします。国語、社会、算数に関しては、県の平均と比較し上回りましたが、理科が下回る結果となりました。



	国語	社会	算数	理科
桜峰小学校	75.0	82.4	72.9	72.6
鹿児島県(480校)	72.3	80.0	70.6	73.2



	国語	社会	算数	理科
桜峰小学校	75.0	82.4	72.9	72.6
鹿児島市(77校)	71.8	78.3	69.3	72.2

全ての教育活動において、児童に自律を促す指導を行うとともに、各教科においては、次のような取組を継続して参ります。

国語科	改善に向けた具体策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動に必要な知識や理解を活用できるように、体験的な活動の充実を図ります。 ○ 主述の関係や修飾・被修飾の関係、接続の関係に着目させて読む指導を行います。登場人物の心情の変化の様子を決められた文字量で書く指導を行います。
社会科	改善に向けた具体策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象に関する知識や理解を、日常生活の中でも認識できるように、体験的な学習の充実を図ります。 ○ 社会的事象と、複数の資料を関連付けたり、比較したりすることで、自分の考えをまとめる指導を行います。
算数科	改善に向けた具体策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「予習型授業」による習熟の時間を確保し、習得した概念を適用できるように指導します。 ○ 日常生活における算数的思考の活用場面を意識させ、数字や式、計算を用いて自分の考えをまとめる指導を行います。
理科	改善に向けた具体策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 科学的事象に関する知識や理解を、日常生活と関連付けられるように、体験的な学習の充実を図ります。 ○ 条件制御の意味と必要性を指導し、実験結果から言えることは何かを考えたり、友達の考えと比較したりすることで考えを深めることのできる学習の充実を図ります。